

亥

謹賀新年

2007

年頭所感

理事長 下 睦 正 明

西日本紙管株式会社 代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます。二〇〇七年の新春を迎え、組合員、理事並びに役員の皆様へ、ご健勝でよき新年を迎えられた事と存じます。旧年中は組合運営・活動に皆様方より多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年五月の組合総会に於いて、十九年に亘り理事長を務められた日本紙管工業(株) 竹本社長が退任され、後任として小職が選任されました。紙管業での経験の少ない小職にとっては非常に責任の重く、また皆様のご期待に沿えるか不安ではあります。組合員の皆様のご支援・ご協力を頂きながら一歩一歩進んでいきたいと存じます。

昨年を振り返ってみますと、日本経済はいざなぎ景気を超える回復局面と言われ、大手企業の収益も好転していますが、当業界の主要な需要先である製紙、フィルムなどの業種では、原油高、原材料高の影響をもろに受け、厳しい状況と云われています。

そのような状況のなか、我々の主原料である紙管原紙の値上げが五月より実施されました。各組合員がこの状況を踏まえ紙管製品価格の安定・向上を目指し、各需要家に価格修正をお願いしました。その結果、各需要家のご理解を得てある

程度の価格修正がなされましたが、全般にいうと道半ばといった状況が見られます。

今年も当組合を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、とりわけバブル崩壊後のこの十数年にわたる紙管製品価格の低落は、われわれのコスト削減・生産性アップを上まわり、企業収益を悪化させています。そこで二十数年前に作成された「紙管製造業の標準見積り原価計算方式の手引書」を青年部会の協力をえて改訂版を編集中です。本書の目的は単なる価格競争に陥らず、コストに対する説明、理論付けを担当営業や経営者に理解をして頂き、需要家に対しても十分説明できるようにしたいという考えによるものです。

次にご報告したいことは、現在東部地区部会にてカオル工業(株) 赤柴会長の

紙管製造五十年の経験をまとめられた書籍を編纂中で、三月頃には完成出版の運びの予定です。技術的な内容もスパイラル巻きの基本や、種々の応用など非常に有益な項目が多いと存じますので、全国紙管工業組合としても本書の完成を待つて協力を図りたいと考えています。

我々の業界は引き続き、原材料高の影響下にある一方、需要家の顧客満足度を向上させるべく努力をしていく必要があります。今後も相互の信頼と協調、業界並びに各組合員の発展と健全な経営基盤を目指して皆様と共に考え、行動していきたいと存じます。

微力ではありますが、業界、組合の発展に努力する所存ですので、組合員の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年の組合員各位並びにその役員、従業員、そのご家族の皆様のご繁栄とご健勝を心より祈念申し上げます。



第五十一回

通常総会開催予告

日時 平成十九年五月十七日
場所 有馬グラウンドホテル

詳細は後日ご連絡申し上げますがご予定下さいますようお願い申し上げます。

副理事長 年頭の挨拶

横田 靖 啓

新年明けましておめでとうございます
平成十九年の新春を皆様には「家族共々
も」健勝でお迎えのことと存じます。

昨年のおが国経済は、四十年前のいざ
なぎ景気を超える景気拡大であると言わ
れましたが、ただその中味は過去とは明
らかに異なり、経済成長率を見ても、い
ざなぎ景気は年平均十一%を超える超高
度成長で、通算で約二・二倍の成長を示
しました。それに対し今回の成長は、約
四・二%程度の伸びでその違いは一目瞭
然です。まして好景気と言っても一部大
企業を中心としての話であり、我々中小
企業にとっては必ずしも好景気の実感で
きない状態であるのも事実と言えます。
現に紙管業界は、昨年原材料の値上げと
言う厳しい状況に遭遇し、組合員各位は、
価格修正のため懸命の努力をされ、なん



とかそこそこ達成できたものの、結果的
には業種分野によっては不満足な状態で
終わつたところが多かったのではないで
しょうか。

こういう状況下にあつて、当組合は昨
年の通常総会において、新たに下野新理
事長が誕生いたしました。私自身は長年
にわたる竹本前理事長のご功績に対し、
敬意を表すると共に、若さあふれる新理
事長のこれからの活躍を心から期待する
次第です。

我々が紙管業界で生きていく以上、こ
の業界これからの希望の持てる業界とし
て発展して行くことを組合員全員が望ん
でいることと思ひます。その為には、今
後とも組合を通じてお互いに努力し協力
しあう、そのことが業界の発展に繋がっ
ていくことを心から期待するものです。

(三協紙管株式会社 代表取締役社長)

赤柴 勝 三

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は組合の活動に多大なご支援、
ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当業界を取り巻く情勢は依然厳し
く、ここ数年の需要減少の中、各社、鋭



意企業体質の強化に取り組まれて来られ
た事と思ひます。

そこで、私の今年の目標として、原点
に帰つて「紙管製品は環境負荷が少なく、
リサイクル性が高い」という利点を今一
度見直し、内外の競争力をつけることに
努力したいと思ひます。

そして企業としての存在基盤を確立す
るため、やはり、単純ですが「ナンパ
ワンではなくオンリーワン」として「ど
こにもない製品を誰もやらない方法」で
つくることに努力をして参りたいと思ひ
ます。

本年も徹力ながら、皆様と力をあわせ
て業界の発展のために尽くして参りたい
と思ひます。皆様の益々のご健勝をお祈
り致します。

(方オル工業株式会社 代表取締役社長)

米 谷 啓 和

新年明けましておめでとうございます。

比較のおだやかな年明けに、今年も良い
一年となるような予感がしています。

年始の挨拶回りをする中でも、ここ何

年かと違い、年明けの荷動きが低調だと
いう得意先の声を聞いています。

その一方で、低成長経済が長く続く中
で紙管業界も体力勝負の様相を見せてき
ています。後継者問題ともあわせて、業
界再編の動きも今年あたりから顕在化し
そうです。

日本の経済や社会が直面している、成
長の時代から安定成長の時代へのシフト・
チェンジが、わたしたち紙管業界にも同
様におとずれています。

青年部活動の活発化により、次世代の
人的交流と切磋琢磨が行われていること
は大きな成果ですが、諸事情により休廃
業を余儀なくされる中小メーカーもあり
ます。それらの撤退・転業支援も業界の
新たな課題として、視野に入れていく必
要を感じています。

こういった分野にも、これから組合が
果たす役割やあり方が見出せるでしょう。
本年も会員企業の皆さまのご期待に応え、
またお力をお借りして成果を上げていけ
る組合を目指していきます。

(米谷紙管製造株式会社 代表取締役社長)



青年部会会長
年頭のご挨拶

佐方 将義

新年明けましておめでとうございます
二〇〇七年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。また旧年中は青年部会の運営にご理解ご協力いただき誠に感謝申し上げます。

さて、このたび原稿を依頼されましたが、文才ない私ゆえ、真つ先に諸先輩方の記事をご参考にしようかと昨年度のご挨拶を拝読させていただいたところ、我々業界を取り巻く環境の厳しさが昨年とあまり変わらない事に気づき不安さえ覚えませんでした。やはり業界は外界からの影響に抗しきれないのでしょうか？ 私はそう思いたくありません。きつと私達にも大きな変革をもたらす力がある筈です。

「敵ながら天晴れ」という言葉はいかがでしょう？

同じつくり方の同じものをただ安く売らせてしまうような競争に「天晴れ」を感じません。商



品開発や生産技術で新しい製法を競い合うのはいかがでしょうか？ そうやって、私たちが業界の一つのメーカー

がもつと強くなることこそが特に今年求められているような気がします。

同業者がどんな技術力を持っていてどんな設備でどんな生産性でどんな戦略でモノづくりをしようとしているか本当にご存知でしょうか？ 競うなら知っていて当然です。それぞれが顧客にしがみ付いていても決して業界の為になりません。奪われても「天晴れ」ならいいじゃないか、くらいの気持ちで力をつけていくはずですよ。

今年は昨年よりもっと開かれた競争をし、会合の度に切磋琢磨し合えるようなそういう青年部会にしたいと願っています。

微力ではございますが業界発展を思い努力いたします本年も組合員皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今年の組合員各位のご繁栄とご健勝を心より祈念いたします。

(三協紙業株式会社取締役本部長)

青年部会 予定

新年会

平成十九年二月二日(金) 5時より

ホテル東横イン

横浜スタジアム前新館ロビー集合

工場見学会

平成十九年三月九日(金)

レンゴ(株)金津工場見学

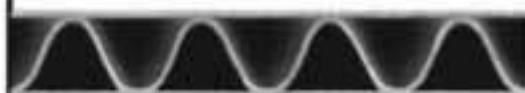
古紙についての講演

大和板紙株式会社

代表取締役社長
北村光雄

〒582-0001 大阪府柏原市河原町5-32
TEL 0729-71-1445 FAX 0729-71-1449

波の、その先に。



COMPLATED BOARD(複合板)の製造、販売は、そのほかの製紙会社には、日本ではじめての大手(株)大和板紙が、2006年10月に、初めてお客様に、複合板のメーカーのグループとして発表いたしました。しかも、11月から自社で製造したものはもちろん、レンゴは2006年10月、そのほかのメーカーの複合板も製造し、この日から販売を開始しております。



レンゴ株式会社 | 〒582-0001 大阪府柏原市河原町5-32 | TEL 0729-71-1445 | FAX 0729-71-1449 | <http://www.rengo.co.jp>

中芯原紙、紙管原紙
美粧段ボールケース



取締役社長 佐藤 勇

〒700-0845 岡山市浜野1-4-34
TEL. (086) 262-8750
FAX. (086) 264-4943

福山製紙株式会社

代表取締役社長
伊藤 晃

〒532-0031 大阪市淀川区加島2-2-1
TEL.06-6301-2131 FAX.06-6301-2919

研修会報告 「目で見る管理の進め方」 「新規分野進出七つの成功法則」

去る平成十八年十月二十日（金）午後一時より、名古屋市内の愛知厚生年金会館にて、（有）大西マネージメントソリューションの大西先生による研修会を開催致しました。

今年のテーマは昨年まで数回に亘って行ってきたトヨタ生産方式を引き継ぎメインテーマとしながらも組合員よりの希望もあり、若干内容的には変化をつけました。

前半の第一部では従来のトヨタ生産方式をベースに「目で見る管理の進め方」を講演して頂き、具体的かつ実践的な内容で、参加者が各社に持ち帰り実行できるように、具体的な事例を豊富に提供して頂きました。後半の第二部は「新規分野進出七つの成功法則」というテーマで、主に環境ビジネス業界をモデルにした新規分野に進出するための考え方を中心に講演を行って頂きました。

我々紙管業界は、巻芯をメイン製品とする業種ですが、組合員会社の新製品の話を盛り込みながら何をどういう視点で、どうやって進めていくか成功例を元にお話をさせて頂きました。

今回で大西先生のとヨタ生産方式による改善活動の研修会は四年に亘って実施

してきたことになりませんが、毎回多くの参加を得ることができ、今年は組合員二十六社七十七名、製紙メーカー六社九名、流通四社五名、新聞社三社三名の合計九十四名の参加を頂きました。

研修会後に交流視聴会を開催し、研修テーマや業界の話題などに活発な話し合いが行われ、盛況裡に終わることができました。種々のお手伝いを頂きました。理事の皆様、青年部会の皆様有り難うございました。



NIPPON DAISHO
PAPERBOARD

日本大昭和板紙株式会社

〒105-0827 東京都中央区日本橋2丁目1番3号
TEL:03-3242-7311 FAX:03-3242-7312

■生産会社

日本大昭和板紙東北 日本大昭和板紙関東
日本大昭和板紙吉永 日本大昭和板紙西日本



紙は時代のメッセージ。

TOYAMA
SEISI

富山製紙株式会社

代表取締役社長 寺崎 敬治

本社工場/富山市下新西町3番14号 〒930-0807
TEL (0764) 32-1147 FAX (0764) 31-4498

今までの研修会の実施例

5S活動の取り組みについて

日本紙管工業株式会社遊賀工場
 全国紙管工業組合研修会で、大西先生の講義を受け、また、当社遊賀工場にもお越し頂いて直接指導も頂きました。

工場の組織としてまず、5S委員会を立ち上げ、講義で学んだ『赤札作戦』や『姿形り』を実施しました。5S委員会は各職場の代表者を委員として、年間活動計画と5Sパトロールを行い、問題箇所、問題行動をチェックし、期限を決めて改善して行く事を申し合わせておりますが、なかなか計画通りとは行かず、赤札は張りつ放し、少し油断をすれば機械は埃まみれとなってしまいます。

そこで、今年の講義で学んだ『見える化』について社員を集めて講習を行い、5Sの組織についても、マシン単位で分割し、関連した部署を集めて、少人数の組織とし、互いに競争する組織を目指した再編成を行い、活動を強化する事としました。

研修会で学んだ事をベースに、自社のオリジナリティーを出した5S活動の推進を目指し、継続的な活動となる様、社員が一丸となって、更なる改善を行って参る所存であります。

執行役員工場長 岡田 潔

トヨタ生産方式による改善活動

西日本紙管株式会社

ここ数年組合の研修会にて、トヨタ生産方式による改善活動をテーマとして講演を行って来ました。

当社としても完全を目指すのではなく、六〇点主義でよいのでやってみようという事で、まず手をつけられる処から実行してみました。昨年の三月より当社工場において、下記の改善活動を行っています。

(1)体制は現場作業のグループ分けを三グループとした。

①大型スパイラル・ポピンスリッタ班 五名

②中型スパイラル・小切り班 六名

③製紙用紙管加工・NC切断機班 六名

(2)改善活動奨励金を一件五百円として設定する。

(3)研修会のテキストより「ムダのチェックリスト」及び「工場改善項目一覧表」のコピーを各班に配布の上、

研修会の内容を説明し開始した。

(4)まずは自分たちでできる範囲という事で実施し、必要な部品などはホームセンターで購入して自分たちのアイデアで行って見た。

活動の結果、三月より十一月までのまとめは次のような実施件数となりました。

①大型スパイラル・ポピンスリッタ班 八〇件

②中型スパイラル・小切り班 三八件

③製紙用紙管加工・NC切断機班

一五七件

今までに行った改善は六〇点主義、自分たちで出来ることを主眼にやってきましたが、これを一年間で一応終了し、次の段階はもう少し大掛かりになります。設備レイアウトや人員配置、さらには設備改善まで含め、出来るところをやって行きたいと目論んでいます。

代表取締役 下畦正明

改善項目	改善件数
①大型スパイラル・ポピンスリッタ班	80件
②中型スパイラル・小切り班	38件
③製紙用紙管加工・NC切断機班	157件
合計	275件

改善2-標準作業のわからないムダ



改善1-探すムダ

昭和高分子の紙管用接着剤 **ポリゾール**



昭和高分子株式会社
 取締役社長 柏田 邦夫

本社 〒101-0054
 東京都千代田区神田錦町3-20
 電話 03-3293-0844 (代表)

支店 大阪・名古屋・仙台・福岡
 営業所 富士・高松
 工場 伊勢崎・高松・竜野・大塚

環境に配慮した

無可塑剤型

紙管用接着剤

ボンドCNシリーズ

ボンドCN140 ボンドCN150

コニシ株式会社 (ボンド事業本部)

本部 / TEL.06-6228-2951
 東京支店 / TEL.03-5259-5734



司会
佐方青年部会会長



下畦理事長挨拶

去る十二月七日、大阪ラマダホテルにおいて、理事会開催後に理事、青年部会役員で、前理事長の竹本實生理事最高顧問の「前理事長慰労会」を開催致しました。
ご存知の如く、昨年五月の通常総会において十九年間の末きに亘り理事長を務めて頂き、業界のため日夜奮闘され、数々の功績を挙げられました。その功労を称え、今回、青年部会役員が主体となり慰労会の開催の運びとなりました。

竹本實生前理事長
慰労会開催



横田副理事長
乾杯



米谷副理事長より花束贈呈



竹本前理事長のご挨拶



会場風景



下畦理事長より記念品贈呈

紙管原紙統計表

(数量・金額百万円)

年月	生産	出荷				月末在庫
		計	販売		その他	
			数量	金額		
平成13年	306,083	300,718	268,677	16,536	32,041	21,837
14年	305,995	307,660	273,582	15,952	34,078	19,325
15年	318,774	315,544	290,840	18,289	24,704	22,001
16年	292,271	290,497	267,040	15,692	23,457	275,979
17年	325,271	322,722	294,158	17,122	28,564	329,192
平成18年 1月	26,436	25,815	23,563	1,342	2,252	27,899
2月	25,955	26,330	24,268	1,376	2,062	27,524
3月	28,973	30,454	28,197	1,602	2,257	26,043
4月	28,274	28,749	26,593	1,540	2,156	25,568
5月	25,926	25,290	23,295	1,376	1,995	26,204
6月	27,802	26,694	24,666	1,491	2,028	27,313
7月	28,824	27,413	26,274	1,550	1,139	28,564
8月	23,385	25,884	24,751	1,452	1,133	25,811
9月	28,477	28,046	26,598	1,520	1,448	27,885
10月	29,085	28,860	27,480	1,617	1,380	26,182

経済産業省 紙パルプ製品統月報

新人教育にもお役に
立て下さい



紙管用語集

販売中

会員特別価格 1000円
一般価格 1500円

日本化工機材株式会社

東京パック2006入場者数

	国内	海外	合計
10/3	34,257	3,671	37,928
10/4	37,682	3,574	41,256
10/5	40,157	2,862	43,019
10/6	42,289	1,978	44,267
10/7	35,266	1,539	36,805
合計	189,651	13,624	203,275

当社の来場者数は、新規顧客575社、既存顧客221社、仕入関係社77社、合計で873社、またノートに記入された方も含め、総合計で894社がお見えになりました。内海外64社。



東京国際包装展 2006 出展報告

初出展

株式会社鈴木松風堂

旧来、大阪での展示会（A-PACK OSAKA）に出展させていただいていたのですが、今回はじめて東京国際包装展（TOKYO PACK）に出展させていただき、大阪とは反響の違いを感じさせていただいた展示会でした。

5日間 当社ブース来場者	1093社
商談成立会社（11月30日現在）	5社
営業活動（商談）中	104社

組合の皆様方も、お立ち寄りいただき誠にありがとうございました。
新製品のご用命をお待ちしております。



平成十八年十月二十二日の良き日に京都カトリック河原町教会で株式会社鈴木松風堂鈴木基一社長のご子息陽氏が挙式されました。ちなみに新婦麻里様は鈴木松風堂に勤務されていましたが、お二人の愛はどなたもご存知なかったそうです。いつまでもお幸せに！

「皆様のおかげを持ちまして、無事に結婚式を挙げる事ができました。心からお礼申し上げます。未熟な二人ですが、力を合わせ明るい家庭を築いていきたいと思っておりますのでこれからも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。」鈴木 陽・麻里

おめでとございます
鈴木 陽 氏 結婚
株式会社鈴木松風堂 特販部

積水フーラー株式会社

環境に優しい 紙管用接着剤

SEKISUI FULLER

大きく育てようー市場に学び、可能性にチャレンジ

大阪市北区西天満2-4-4（堂島関電ビル5F）
TEL: 06 (6365) 4603 FAX: 06 (6365) 4607

特許出願中

新無可塑剤型
紙管用接着剤
A-560シリーズ



アイカ工業株式会社

東京本社 化成品カンパニー営業部

東京都練馬区豊玉北6-5-15 アイカ東京ビル
TEL: 03-5912-2774

紙業五団体合同新年互礼会

新年一月九日に、日本製紙連合会関西支部・大阪洋紙代理店会・大阪板紙代理店会・大阪洋紙同業会・大阪紙運会の五団体の共催による新年互礼会が大阪のリーガロイヤルホテルにて開催され、紙加工品業界団体等が招待頂き、当組合も下野理事長をはじめ七名出席させて頂きました。

開式後、招待された紙加工品業界団体等の各代表者が紹介があり、当組合は、竹本理事最高顧問が理事長として十九年間に亘る功績を、次に新理事長として下野氏が壇上で紹介されました。



A-PACK2007 OSAKA

「包装・物流・環境対応への新技術/アジアで拓こう21世紀」



当組合協賛

目的	包装資材・包装機械・環境対応機材から物流に至るまでの技術、システム、デザインの展示と国際交流を通じてアジア地域における包装・物流技術の向上と発展に寄与することを目的とする。
会期	平成19年4月18日(水)～21日(土) 4日間
時間	午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
会場	インテックス大阪 1～6号館 大阪市住之江区南港北1-5-102

労働条件調査ご協力をお願い

すでにお送りしております標記調査は本年の労働体制作りにきっとお役に立てると存じますので、是非ご協力下さいようお願い致します。

締切日 平成19年1月19日

紙管用接着剤

コニシ株式会社 代理店

株式会社 旭 栄

大阪市北区天神橋1-1-1 電話 06-6354-0356

新発売

紙管用でんぷん糊(天然系)

HMノール NK-609

水性紙管用すべり剤

スライダーKS

紙管用接着剤・すべり剤製造販売



株式会社 森川商店

【本社】
京都市下京区堀川五條上ル
TEL: 075-341-8121
FAX: 075-341-8143
http://www.morikawashoten.co.jp E-mail:tech@morikawashoten.co.jp

【テクノセンター】
滋賀県彦根市長瀬町1200-39
TEL: 077-516-2221
FAX: 077-563-8894

IT 推進委員会からのお願い

IT 推進委員会では、会員向けの「メールマガジン」の発信を予定しております。まだ会社にてインターネット等をお使いでない場合は、ご自宅のパソコンへの送信も可能ですのでご連絡下さい。ご連絡は必ずメールにてお願い申し上げます。

メールアドレス: alljappt@mx.mesh.ne.jp

※まだインターネットご利用でない場合もご連絡下さい。FAX等でお送り致します。

東洋ファイバーの **フワットライト**
紙管用超低密度紙

世界初の軽量クッション紙

☆特長☆

- ①軽量化: 密度0.2g/cm³ (一般紙の約1/4)
- ②クッション性: 合成発泡基材と同一レベルのクッション性
- ③環境適合性: 主成分は天然素材のペーパー

東洋ファイバー株式会社

本社 TEL055-966-9284

大阪 TEL06-6231-2731

全国紙管工業組合

ホームページ <http://www.zankokushikan.jp>

メールアドレス alljappt@mx.mesh.ne.jp